

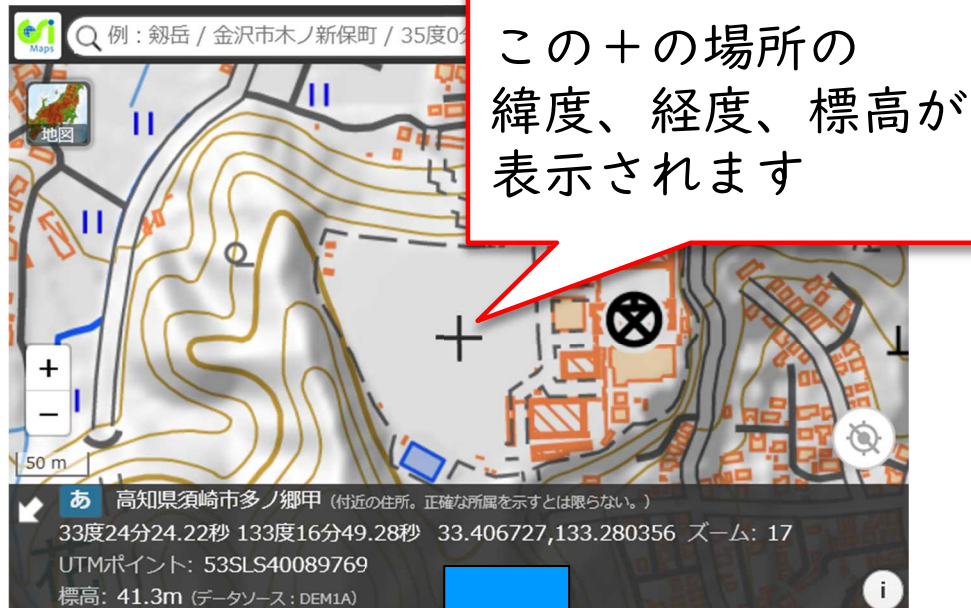
測量・地図学習会
地理院地図体験講座
～ 電子基準点と自然災害伝承碑を通して ～

令和8年6月

国土地理院 四国地方測量部

- 地理院地図
- 電子基準点
- 自然災害伝承碑

自宅の緯度、経度、標高を調べましょう



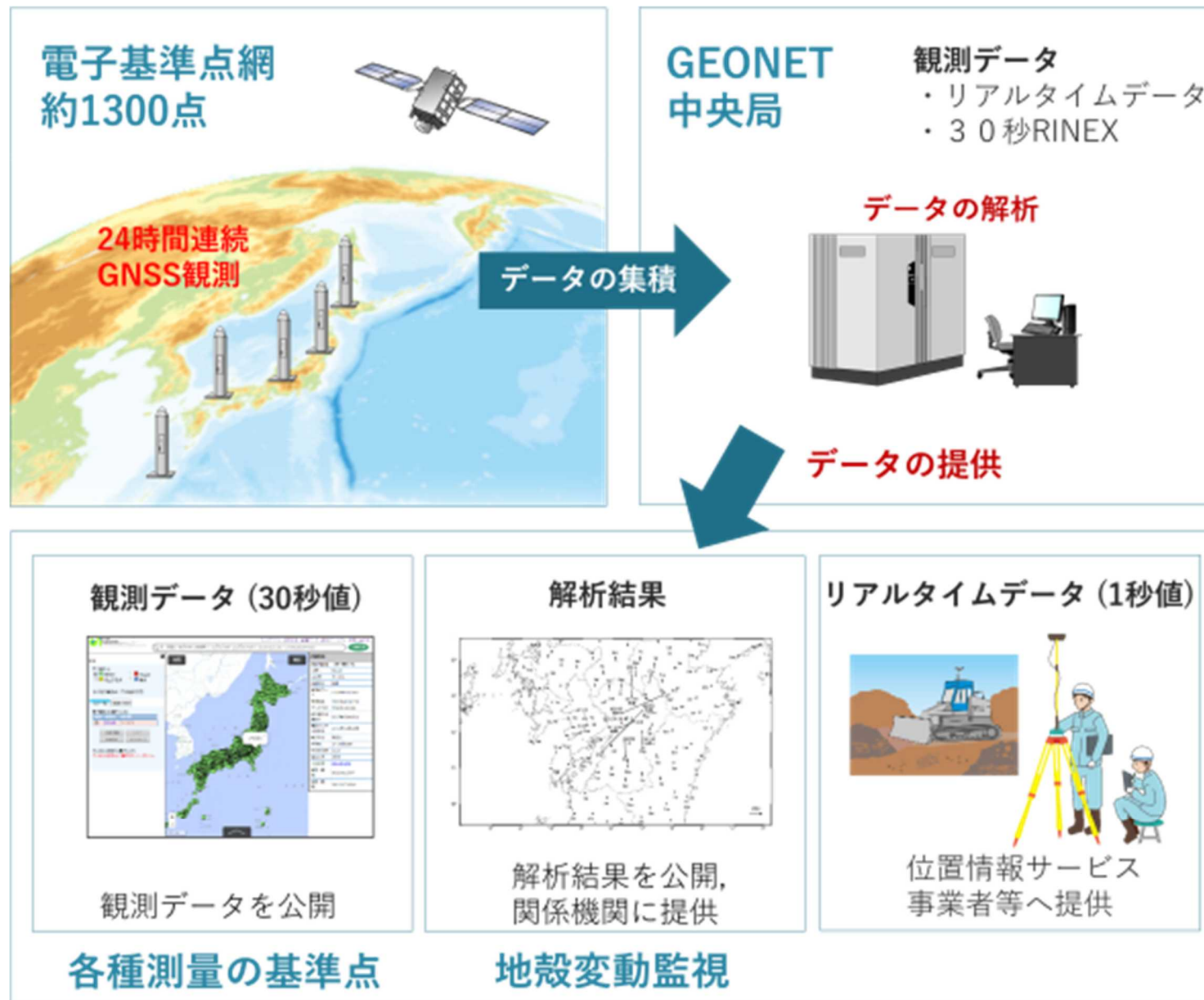
緯度（度単位）
33.406727 の場合
ワークシートには、
小数点以下第2位までを記入
33.41

あ 高知県須崎市多ノ郷甲（付近の住所。正確な住所を示すとは限らない。）
33度24分24.22秒 133度16分49.28秒 33.406727, 133.280356
UTMポイント: 53SL S40089769

標高（度単位）
41.3m の場合
ワークシートには、
小数点以下第1位までを記入
41.3

経度（度単位）
133.280356 の場合
ワークシートには、
小数点以下第2位までを記入
133.28

我が国の位置の基準





平成30年7月豪雨（西日本豪雨）

平成30年7月豪雨により発生した土砂災害で多くの犠牲者が出た広島県坂町では、100年以上前
の大水害の被災状況を伝える石碑が現地に建立されていたものの、地域住民にその内容が十分に伝承
されていませんでした。

このような経験から、**過去の自然災害の教訓を適切に伝承**するとともに、**教訓を踏まえた的確な防災
行動による被害の軽減**をめざし、国土地理院で情報の整備と公開を開始しました。



写真提供：大阪府警察

【水害碑（広島県坂町）の伝承内容】

明治40年（1907）7月15日、数日来降り
続いた豪雨により天地川や総頭川で土石流が
発生した。この未曾有の大災害により、小屋浦
地区では43戸の家屋がつぶれ、44名の命が奪
われた。

平成30年7月豪雨当時、避難勧告を受けた
小屋浦地区の住民の避難率は、坂町全体の
半分程度にとどまっていた。



概要	
碑名	耕地整理記念碑
災害名	大正7年9月洪水 (1918年9月14日)
災害種別	洪水
建立年	1927
所在地	香川県三豊市三野町下高瀬
伝承内容	大正7年(1918)9月14日、台風により香川県内各地で風水害が発生し、死者・行方不明者計21名の大災害となった。この地でも洪水により、高瀬川堤防約440mが決壊した。近接する下高瀬東浜地区では、流入した土砂が多いところで約1.2mほど堆積し、10ヘクタール余りの田が荒廃地と化し耕作が全くできなくなった。
制限事項	

測量・地図学習会 地理院地図体験講座 ～ 電子基準点と自然災害伝承碑を通して ～

- 地理院地図 … 国土の様子を発信するウェブ地図
- 電子基準点 … 我が国の位置の基準
- 自然災害伝承碑 …

